

## 出演者プロフィール



### 津森久美子：歌 Kumico Tsumori: Voz

「そのファドの魂はポルトガル人と何らかわらない」と現地ポルトガルでも賞されたファド歌手。本場リスボン仕込みの演奏と、ポルトガル語で歌う前に日本語で歌詞を語るスタイルに定評がある。2003年よりファドを歌い始め、2005年、初渡葡。重鎮アントーニオ・パレイラ氏に師事。ファドの店「Velho Páteo de Sant'Ana」にレギュラー出演を果たす。2008—2009年、リスボンに住み長期修業へ。2014年葡国立音楽ホール「カーザ・ダ・ムジカ」に招聘され単独コンサートを成功。2017年・2022年、ポルトガルギター奏者セルジオ・コスタ氏を招きジャパンツアーをポルトガル大使館と共催。2018年、ポルトガルのお祭りで飾り付けられた広島マツダスタジアム10周年記念試合にて国歌斉唱を務める。現在は東京を拠点に活動中。ポルトガルに縁深い長崎や天草での演奏、ポルトガル大使公邸や大使館主催イベント等、各地で演奏とレッスンを行っている。ファドが自身の人生を照らしたように、聴き手の悲しみや喜びに光をあて、明日への一步を踏み出せる力となるよう歌う。

### 上川保：ポルトガルギター Tamotsu Uekawa: Guitarra Portuguesa

二十歳よりプロギタリストとして演奏活動開始。ジャズ、ブルース、ラテン、フォルクローレ、シャンソン、歌謡曲、ポップス、ファドとジャンルを超えて演奏を展開。ポルトガルギター奏者として月田秀子氏のグループに参加。本場リシュボアにてポルトガルギターの名手アントニオ・シャイーニョ氏に師事。現在、関西ジャズ・スクールにて講師を務める。アゼリア・ジャズ・オーケストラ、レギュラー・ギタリスト。

### 水谷和夫：ギター Kazuo Mizutani: Viola de Fado

18才よりギターをはじめ。2003年、相愛大学ギター科卒業。クラシックギターを永島志基・原善伸・佐野健二・大西慶邦・柴田健の各氏に、フラメンコギターをスペイン人ギタリスト MIGUELON に師事。在学中、2001年第28回日本ギターコンクール・アンサンブル部門にて1位及び読売賞を受賞。2003年、初渡葡。リスボンのファド博物館にてフランシスコ・ゴンサルベス氏に、また Velho Páteo de Sant'Ana ではギリエルメ・カルヴァリャイス氏に師事。日本人として初めて、専門的にファドのヴィオラ（ポルトガル語で「ギター」の意）を学ぶ。帰国後、在日本ポルトガル大使公邸や大使館主催イベント、CD録音等に多数参加。現地で学んだ日本人唯一のヴィオラ・デ・ファド奏者として、歌手やギタリストからの信頼は厚い。クラシックだけでなく、ポルトガル音楽・スペイン音楽など多岐にわたり活動している。